

どんぐり通信

2月号

発行者 飯塚市庄内生活体験学校

職員日記



11月27日愛宕幼稚園の年中さんが玉ねぎの植え付け体験に来てくれました。こちらの思いがなかなか伝わらず思いがけない行動をとる子もいました。
岩村 智賀



平成6年度から続けているどんぐりの育苗と植林活動をですが、今年も児童と一緒に育苗活動を行いました。
津山 武昭

生活体験合宿14班

平成31年1月13日、生活体験合宿14班で、鳥羽池の清掃活動を行いました。男子は生活体験学校で使用するために枯れて落ちている枝を集め、女子はゴミを拾いました。枝は鳥羽池の周回道路にたくさん落ちていて、飯ごう炊飯や風呂沸かしに利用しました。ゴミも多く拾うことができ、空き缶やビン、家庭ごみまで落ちていました。鳥羽公園の清掃をしているときに、近所の方から「ありがとうね。いつもここを散歩しているから、今度から気持ちよく散歩できるよ」と言われ、子ども達が嬉しそうな顔をしていました。



生活体験合宿15班

平成31年1月19日（土）、鳥羽公園周辺の落ち葉を拾いました。生活体験学校では、合宿や事業で出た生ごみで堆肥を作っていますが、今年度から畑の土壌改良をするために「落ち葉堆肥」づくりを本格的に始めました。コンテナバッグに軽い落ち葉も重たくなるぐらいたくさん集めました。みんなで協力したので、短時間で集めることができました。



生活体験合宿12班参加者 N・Hの保護者の声

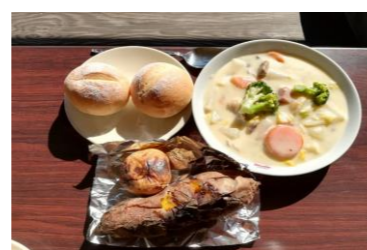
小学2年生から参加した生活体験合宿ですが、先生やボランティアの皆さんの暖かいご指導を受け、たくさんの経験と学びを体験できました。TVQの取材のインタビューで合宿の感想はと問われ「生活体験学校は私にとってもう一つの家です。」と答えていました！！
本当にありがとうございました。

YS市庭助成事業 無農薬野菜講座

参加者：幼児 5名
小学生 6名
保護者 5名

3月上旬なみの暖かい気候の中、収穫作業を中心に活動しました。ジャガイモの土はフカフカで、子どもたちは自分の手や足を使いジャガイモを掘り出しました。昼食は、外のデッキにテーブルを出し、太陽の暖かさを背中に感じながらシチューを食べました。

- 【活動内容】
○ジャガイモの収穫
○白菜、ニンジン、大根の収穫



【昼食】 ホワイトシチュー ジャガイモの丸焼き

👁️ 今期の活動メンバーは、例年に比べて幼児が多い中でのスタートでしたが、幼児の活動意欲が高く、小学生が自然と幼児の手伝いをする風景もあり微笑ましかったです

活動紹介



「石焼き芋釜」について

生活体験学校には、石焼きイモ釜が5基あります。ここの石焼きイモ釜の特徴は、既製品を使うのではなく、ドラム缶や鋳物の簡易くど、焼却炉を再利用して、石焼きイモ釜として使っています。昨年度から合宿や幼児の野外活動支援の時に大活躍しています。最近では、サツマイモだけではなく、ジャガイモを焼いて食べることもしています。合宿や事業で食べた人からは、「ホクホクしてとてもおいしい」「塩で食べるとジャガイモの味がする」などの感想がありました。

【石焼き芋釜貸出・石焼き芋づくり】

平成29年度		
日時	施設名	備考
11月8日	庄内子育て支援センター	石焼き芋釜使用
11月21日	愛宕幼稚園	石焼き芋出前講座
12月5日	庄内こども園	石焼き芋出前講座
12月15日	筑穂保育所	石焼き芋出前講座
平成30年度		
日時	施設名	備考
11月8日	平恒保育所	石焼き芋出前講座
11月12日	庄内子育て支援センター	石焼き芋釜使用
11月22日	庄内保育園	石焼き芋出前講座
12月1日	愛宕幼稚園	石焼き芋釜使用
12月4日	ひまわり幼稚園	石焼き芋釜使用



※生活体験合宿や通学合宿、無農薬野菜作りなどで、サツマイモを焼いて食べています。

館長コラム

寒い時期の合宿事業の参加意欲にブレーキがかかるのは、インフルエンザだけではない。低い気温と冷たい風をしのいで生活するという季節がもたらすプレッシャーがある。お湯が蛇口から出てきて当たり前という生活体験学校ではない。加えて親と離れて友達だけで暮らさなければならない合宿である。閉講式では少なからぬ子どもが、「お母さんが毎日大変な仕事をしてくれていることが分かった」と口にする。親と離れて暮らすことは自立の第一歩である。であるがゆえに、親の代わりをするような「親切」は自立を妨げることになる。

正平 辰男

【問い合わせ先】

飯塚市庄内生活体験学校（指定管理者：NPOどんぐり）
〒820-0111 福岡県飯塚市有安958-1
TEL：0948-82-3188 FAX：0948-82-2780
mail：taiken.sch@oks.or.jp

